



貫井の風



令和7年4月号
令和7年4月17日
校長 佐藤 明子

<https://cms.nerima-ky.ed.jp/weblog/index-i.php?id=212>



佳き縁を糧に ～学校教育目標の具現を目指して～

校長 佐藤 明子

令和8年度は、1年生149名を迎え、生徒数計424名でスタートいたしました（4月17日時点）。保護者の皆様におかれましては、お子様のご入学、ご進級、誠にありがとうございます。心からお祝い申し上げます。春の光の中で生徒が教室へ向かう姿を見ていると、それぞれの胸の内にある期待や決意が、静かに伝わってきます。

さて、生徒が毎日過ごす校舎のいたるところには、本校の“教育目標”が掲げられています。しかしながら日々の生活で、生徒がこの言葉に意識を向ける機会はありません。そして教職員にとっても、恥ずかしいことですが、年度の節目に読み返しても、教育目標の意味を深く考えることは多くないように思います。だからこそ改めて生徒や保護者の皆様とともにじっくりと考えたいと思い、今年度の入学式辞で触れました。教育目標「よく考える人・思いやりのある人・実践する人」は、学校が大切にしてきた価値であり、教育活動を実行する確かな指針です。そして今年度は、“掲げてあるだけの標語”ではなく、学校全体で共有し、日々の行動に息づかせていく一年にしたいと考えています。

『よく考える人』とは、新しいことを学ぶ中で「どうしてこうなるのだろう」と自分で一度立ち止まることをイメージするとよいでしょう。授業では知識を得るだけでなく、自分の考えをもち、仲間と意見を交わしながら学びを深める場をつくっていきます。問いを立て、自分の言葉で説明し、他者の考えを受け止める力はこれからの社会で求められる力です。生徒が安心して挑戦できる授業づくりに努めてまいります。

『思いやりのある人』に向けては、思いやりのある行動が自然に生まれるような環境づくりを進めます。あいさつの声が響く学校、互いの違いを認め合い、困っている仲間へ手を差し伸べられる学校。そうした空気は、一人の力では成り立ちません。生徒と教職員が一緒になって、小さな行動から学校全体の空気を整え、生徒の成長を支えてまいります。

『実践する人』になるためには、委員会活動や学校行事、部活動等、責任をもって取り組む場を大切にします。役割を果たす重み、仲間と協力を喜び、努力を積み重ねる尊さ—こうした経験は、教室では学べない大切な学びです。うまくいかない日があっても立ち止まらず、次の一步を踏み出す姿勢をもち、小さな実践を積み上げて、生涯にわたって強く歩むことができる確かな力と育成してまいります。

令和8年度も、生徒同士や生徒と教職員との温かな人間関係づくりを根底におき、生徒にとって学校生活が有意義であり充実感に満ち溢れ、安心して自分のよさを伸ばし発揮できるよう努めていく所存です。

さて今年度は、10名の新しいスタッフを迎えての学校運営となりました。昨年度以上に「子供たちの可能性を引き出す、最適な学びと協働的な学びの実現」が重要なものと考えています。これからの社会を担う子供たちの健やかな成長を支えていくために教職員一同で尽力してまいります。（令和8年度の学校経営方針や学校活動の詳細につきましては改めて5月15日（金）の保護者会にてご説明します）。保護者や地域の皆様には昨年度同様、温かいご支援と、より一層のご理解とご協力のほどよろしくお願いいたします。

❖❖❖ **転入** お世話になります。 ❖❖❖

